

町三小、本町田東小、本町田小の存続を求める請願

【請願要旨】

町田第三小学校は1952年に町田小学校から独立しました。学校農園でボランティアや農家の方々と協力して育てた野菜を給食でいただく中で、食べ物の大切さを学んでいます。1970年に開校した本町田東小学校は丘の上の明るい立地と小規模な特徴を生かし、先生方と子ども、保護者同志も顔なじみで和やかな雰囲気です。特別支援学級との交流で全校児童が自然に多様な障がいへの理解を深めています。本町田小学校は本町田西小学校、緑ヶ丘小学校、原小学校の3校が統合され、原小学校の跡地に2002年に創立されました。緑豊かな希望の森と小規模な特徴を生かし、すべての子どもたちの様子を気かけ、子どもたちと保護者に寄り添った教育が行なわれています。

本町田東小学校に統合されれば、マンモス校（2022年4月の児童数で1050人）になり、子どもたち一人一人に目が届きにくくなります。最も遠い場所からは通学時間が30分以上で、小学1年生が重いランドセルを背負って歩くのは困難です。放課後の「まちとも」や学童保育を利用した子どもたちの帰宅時刻が遅く暗くなり、危険です。防災拠点である小学校が遠くなると、地域の方々は歩いて避難することが困難になります。

また、見守りや教育ボランティアの多くの高齢者は、小学校が遠くなるために参加できなくなり、地域とのつながりが失われます。また、小学校がなくなれば、その地域に子育て中の若い世代が住まなくなり、地域が衰退します。一度廃校になれば、元に戻すことができません。

小学校が近くにあることで、子どもたちと保護者が安心でき、地域との協働を進め、地域コミュニティの核としての機能を果たせます。地域にとって、町田第三小学校、本町田東小学校、本町田小学校は、なくてはならない存在です。本請願の採択をよろしくお願い申し上げます。

【請願項目】

1. 町田第三小学校、本町田東小学校、本町田小学校を存続してください。